

令和5年度第2回総合教育会議 要旨

1	日 時	令和5年8月31日（木）午後1時30分から午後2時30分まで	
2	場 所	本庁舎2階 庁議室	
3	出 席 者	【委員】	【事務局等】
		郡山市長 品川 萬里	政策開発部次長 石橋 智之
		教育長職務代理者 阿部 亜巳	教育総務部長 寄金 孝一
		教育委員 今泉 玲子	学校教育部長 嶋 忠夫
		教育委員 阿部 晃造	生涯学習課課長補佐 道山 彰
		教育委員 藤田 浩志	中央公民館長 渡邊 信幸
		教育委員 田中 里香	中央図書館長 莊原 文彰
4	内 容	議 題 （1）教育委員会所管施設（図書館、公民館、美術館等）について 報 告 （1）全国学力・学習状況調査結果 （2）児童生徒の食物アレルギーの状況	
5	議事内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;">1 開 会</div> <p>令和5年度第2回郡山市総合教育会議を始めます。なお、本会議は郡山市YouTubeチャンネルにおいて動画配信により公開しております。ご了承ください。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;">2 市長あいさつ</div> <p>○品川市長 本日の議題はご案内のとおりとなっている。 また、議題のほかにも最近の事象から関連する事項について議論いただきたい。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;">3 議題 教育委員会所管施設（図書館、公民館、美術館等）について （教育総務部長から説明）</div> <p>○品川市長 委員のみなさんから、質問要望等あれば意見をいただきたい。</p>	

○阿部職務代理者

コロナの影響で外出自粛の期間等があった。来館人数や、貸出冊数等に影響はあったか。

○教育総務部長

図書館については、コロナの影響もあり貸出数の減少につながったと考えられるが、震災の影響もあったと思う。

公民館は、コロナの影響で、各地区館・地域館とも事業を休止している状況もあり資料のとりの利用者数、利用件数になっている。

美術館もやはり、コロナの影響で来館者数は減っている状況である。

○藤田委員

コロナ禍の前までは私自身が講師として、公民館で講座を実施する機会が多かった。公民館の講座については、コロナ禍以前にどのような講座が実施されていたかを整理して軌道に乗せていけば稼働率が上がっていくのではないかと思う。

○教育総務部長

講座の開催については、デジタルの活用ということでYouTube配信等により自宅に居ながらにして受講することができるようにする取り組みを今年度から実施したいと考えている。

また、各公民館等の事業の情報については、生涯学習ポータルサイトの立ち上げを行っており、図書館や公民館等の事業を全て閲覧できるシステムを構築中である。

○阿部職務代理者

市民向けの公民館講座を利用することがある。以前、思春期を迎えた子供との向き合い方の講座を受講した際は、同じ悩みを抱えた方々と情報を共有するなど課題解決のヒントをもらった。

公民館主催の事業は、経験、知見豊富な講師を揃えられるという強みがあると思う。コロナが落ちついてきたので、そういった講座をまた増やしていってほしい。

また、市民や家庭が抱える課題の解決には、図書館も重要な役割を担えると思う。本を借りるだけの場所と思いがちだが、レファレンスサービスとしてそれぞれの悩みや課題解決のヒントとなるような本を紹介してもらえということをも市民の皆さんはあまり知らないと思う。

課題解決のヒントを示すという役割を図書館も十分担えていると思う。

そういう意味で、公民館も図書館も市民の悩みに寄り添える教育機関になっていけると期待している。

○教育総務部長

公民館と図書館の連携も可能と考えている。例えば、公民館講座の内容についての参考本を図書館で準備して貸し出したりなどができると思うので、教育委員会の中で連携して進めていきたい。

○品川市長

現在、教育委員会にお願いしているのは、子供の居場所づくり。放課後の時間は児童クラブとして使うなど、公民館に気軽に立ち寄って世代を超えて交流できるような形。委員の皆さんもお近くの公民館に立ち寄っていただき色々アドバイスをいただきたい。

○藤田委員

私の家の近くの小学校では、学校田が実施されており、田植えから稲刈り、収穫までを行う。コロナ禍前に好評だったのが、昔ながらの縄をもじって正月飾りを作ったり、遊び道具を作ったりする行事。子供たちにも先輩方にも良い時間であったと思う。公民館においてはこのような事業を実施するなどコミュニケーションの場として気軽に活用できると良い。

○品川市長

今後も委員におかれては公民館を活用いただき、色々な意見をいただきたい。

次に、図書館について。

蔵書数等は他市と比較してどうか。

○中央図書館長

蔵書数は全国の中核市と比較してもほぼ同程度となっている。また、電子書籍の稼働も進めている。

○藤田委員

熱海の図書館で子供が興味のある分野の本を借りることがあり、図鑑や歴史に関して必要な本が十分に揃っていると思うが、そういった情報が地域の方々に知られていないと感じる。図書館にどんな本が揃っているのか、学校と連携して情報共有をしてはどうか。

○今泉委員

図書館を利用することがあるが、年代を問わずマナーを守って利用されている。

美術館は、様々な企画展が開催されていると思う。

公民館は、発表会などを見に行く機会があるが、とても入りやすく使いやすい印象。

○品川市長

次に、美術館について。

2017年の来館者が少ない理由は何があるか。

○美術館長

半年間休館して、ライティングや空調設備の改修を行った。

○品川市長

私もたびたび美術館を訪れているが、一利用者としては、非常に固い印象を受けるので、もう少し柔らかい雰囲気になれば良いと思う。

○阿部職務代理者

昨年、美術館で開催された体験型の企画に子供と出向き、とても楽しんだ。そういった親子で楽しめるような企画を定期的で開催すれば来館者も増えると思う。

○美術館長

昨年開催した魔法の美術館展は好評で、コロナ禍でありながら3万人を超える来場者であった。

今後も子供が楽しめるような企画を定期的に取り込んでいく。

4 報告 (1) 全国学力・学習状況調査結果

(学校教育推進課長から説明)

4 報告 (2) 児童生徒の食物アレルギーの状況

(学校管理課長から説明)

○品川市長

石川県の学力が高い理由は何があるか。

○学校教育部長

よく言われるのは、家庭学習への取り組みがしっかりしているということ。

本市においても、学校での学習と家庭学習はどちらも大切であると考えている。タブレット端末でのスタディサプリというアプリを使った学習については、それぞれの状況に応じて学べる環境の提供ということで取り組んでいる。

○阿部職務代理者

スタディサプリが利用できるのは保護者としてありがたい。個人で利用しようとするれば経済的負担が大きい。

塾に通えない子でも家で学べるなど、教育格差の解消につながっている。また、スタディサプリは、自分の学年以外の学習もできる。苦手な教科は前の学年にさかのぼって、得意な教科は先の学年の内容に取り組むことができる。活用方法を周知して家庭学習の充実に繋げてほしい。

○学校教育部長

小学校から高校までの学習ができるアプリなので、学校ごとの利用状況に差が生まれないように有効に活用していきたい。

○学校教育推進課長

活用方法については、学校の要請に応じて指導主事が出向いて説明等行う。

次に、国語の学力については、昨年度からデジタル新聞の活用を行っている。IDを入力することで、いつでもどこでも新聞を読むことができるので、その効果もあると考える。

○品川市長

現在、本市では、インターネットで他校の授業をリアルタイムで見るといようなことは実施しているか。

○学校管理課長

研究授業を配信して他の学校の先生が見られるようにすることは可能だが、すべての授業を配信することはしていない。

○学校教育部長

連携協定を締結している株式会社FACT4において、様々な授業のデータを集めてデータベース化し、市内の先生が「こういう授業をやりたい」というときに先行事例を調べたりできるような仕組みを作っている。授業はクラスの状況や先生の考えで違ってくる。それぞれのクラスに合った授業があるので、教材の使い方や発問の仕方等で分類をしながら授業をデータベース化していく。

今後、それらを活用しながら、さらに良い授業を市内に広めていきたい。

○品川市長

ほかの先生の授業を見たいときに見られるシステムを教育委員会の中でも研究してほしい。

スタディサプリの使用については、子供たちがそれぞれのレベルに合わせて別の学年の勉強をすることもできるという部分が、憲法第26条の趣旨に合致した良い取り組みだと思う。

なお、石川県の取り組みについては、ぜひ現地に行ってみてほしい。

○阿部委員

以前、石川県に行ったことがあるが、家庭学習がとても盛んに行われていた。秋田県も同じ。学校での授業自体はそんなに変わらないと感じた。その後のフォローの部分だと思う。

また、秋田では、地域で教育に力をいれて子供たちの学力が向上しても、進学等で首都圏に出た人たちがそのまま就職して地元に戻ってこないということが一番の課題だとも聞いた。

○藤田委員

学習機会は、家庭環境や子どもの特性によって差がでてしまうということがあると思う。学習環境を整えてあげるだけでも全然違ってくる。中央公民館に行ってみると、机やイスがあるスペースで子供たちが勉強している姿が見られる。公民館や図書館については、子供たちが勉強する場所としての活用もお願いしたい。例えば、中学生や高校生が小学生に教えるなどもできるし、また、教えることで身につくこともある。場所を提供することで公平な学習機会の充実にもつながると思う。

○品川市長

様々な課題があると思うが、放課後の子供たちが自由に過ごせる空間を作れるよう皆さんの知恵を借りながら進めていきたい。

郡山で起業しようとか、郡山市のあの会社で頑張ろうというように、地元に戻って活躍できるようなまちづくりを目指して今後も取り組んでいく。

また、不登校の子の学習機会の充実にも努めていかなければならないと考えている。

さらに、今後中高一貫校になる安積高校についてだが、中学校の教育と高校の教育をどのように組み合わせていくのか、どういう学習環境を整えていくのかなど、本市に限らず福島県との共通の課題になると思うので、教育委員会においても議論いただきたい。

○藤田委員

先ほどのアレルギーの件だが、給食については心配していないが、家庭で外食する際などのアレルギー表示について。地元の小さい飲食店等ではなかなか難しいのかと思う。家族にアレルギーのある子供がいると、比較的表示がしっかりしているチェーン店などに行かざるを得ない。せっかく地元の食材を使って頑張っている飲食店に行きたくてもなかなか行けない。地元で根付いたお店で、アレルギー表示が難しいところへの助成などを検討いただき、アレルギーのある子どもがいる家庭でも気軽に入れるよ

		<p>うになれば良い。できれば総菜なども含めてアレルギー表示を市内で広めてほしい。</p> <p>○市長 事業者への指導等は保健所で行える。給食におけるアレルギー対応の資料等は既にあるのでそれらを提供してもらい、保健所を通して対応していきたい。</p> <p style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">5 閉会</p>
6	会議資料	(1) 第2回総合教育会議次第資料 2023.8.31